

一 沿 革

長崎県立佐世保中央高等学校

昭和 51.10.18 長崎県教育委員会において、佐世保地区定時制・通信制統合の基本方針が確認された。
佐世保市立高等学校、佐世保市立商業高等学校、長崎県立佐世保北高等学校定時制課程、長崎県立佐世保南高等学校通信制課程の統合を前提として、定時制・通信制の県立高等学校を昭和 52 年度に発足させる。

52.1.1 設立準備委員長に松本忠重、準備委員に江崎茂が任命。

52.3.19 長崎県立佐世保中央高等学校の設置が決まり、募集定員が次のとおり定められた。

定時制課程 普通科 修業年限 4 年 募集定員 80 人

商業科 ” ” 40 人

通信制課程 普通科 ” ” 400 人

52.4.1 佐世保市立高等学校跡地(佐世保市万徳町 9-14)に開校。開校式挙行。

初代校長 松 本 忠 重 任命 (佐世保市立高等学校より)

佐世保市立高等学校及び佐世保市立商業高等学校の生徒は本校生徒として移籍。

52.6.23 文部省から高等学校定時制・通信制教育モデル校の指定を受ける。

53.4.1 長崎県立北松南高等学校定時制課程を追加統合し、生徒(3・4 年)を本校へ移籍。

特別教室棟、便所棟等が完成し、第 1 段階の整備がなり各校からの移管も完了した。

55.1.25 昭和 55 年度より、通信制課程の募集定員が次のとおり改められた。

通信制課程 普通科 就業年限 4 年 募集定員 300 人

55.4.1 定時制・通信制併置独立校としての施設、設備は概ね完了し、教場移動校の学年進行も終了。

名実共に佐世保中央高等学校となる。

第二代校長 平 山 智 之 就任 (長崎県立中五島高等学校より)

58.1.25 昭和 58 年度より定時制課程の募集定員が次のとおり改められた。

定時制課程 普通科 修業年限 4 年 募集定員 40 人

商業科 ” ” 40 人

59.4.1 第三代校長 深 堀 義 文 就任 (長崎県立上対馬高等学校より)

61.3.31 建物敷地等 (7,539 ㎡)を佐世保市より購入。

61.4.1 第四代校長 笠 原 昭 人 就任 (長崎県立川棚養護学校より)

62.11.1 創立 10 周年記念式典挙行。

63.4.1 第五代校長 笹 野 博 之 就任 (長崎県立上対馬高等学校より)

平成 2.4.1 第六代校長 田 原 陽 一 就任 (長崎県立佐世保中央高等学校より)

3.10.1 長崎県教育委員会において県立佐世保中央高等学校に単位制課程の設置及び生徒募集正式決定

単位制課程 普通科 就業年限 3 年以上 募集定員 40 人

4.4.1 単位制課程開設準備委員長及び準備委員会発令、本校に準備室設置。

5.4.9 単位制課程の開設式並びに第 1 回入学式挙行。

6.4.1 第七代校長 定 方 郁 夫 就任 (長崎県教育委員会より)

8.4.1 第八代校長 三 上 升 就任 (長崎県立佐世保西高等学校より)

平成 8 年度より各課程名が次のとおり改められた。

定時制 単位制による定時制課程夜間部

通信制 単位制による通信制課程

単位制 単位制による定時制課程昼間部

9.11.1 創立 20 周年記念式典挙行

9.11.12 管理、特別、普通教室棟完成

9.12.18 新校舎へ移転 (佐世保市梅田町 10-14)

10.4.1 第九代校長 中 村 倫 明 就任 (長崎県立佐世保北高等学校より)

10.4.1 昼間部定員増により 1 年次生 80 人

11.3.29 体育館完成

12.3.9 防球ネット完成

12.3.24 運動場夜間照明完成

12.3.27 運動場完成

12.10.22 総合落成記念式典挙行

13.4.1 第十代校長 百 田 宏 昭 就任 (長崎県立対馬高等学校より)

15.4.1 第十一代校長 町 田 實 就任 (長崎県立佐世保西高等学校より)

18.4.1 第十二代校長 山 添 和 夫 就任 (長崎県立島原高等学校より)

19.10.27 創立 30 周年記念式典挙行

平成 21.4.1 第十三代校長 大 野 博 海 就任 (長崎県立北松西高等学校より)

23.4.1 第十四代校長 ト 部 篤 志 就任 (長崎県立大村特別支援学校より)

26.4.1 第十五代校長 地頭菌 健 司 就任 (長崎県立五島海陽高等学校より)

28.4.1 第十六代校長 靄 田 圭 子 就任 (長崎県立佐世保中央高等学校より)

29.10.28 創立 40 周年記念式典挙行

30.3.16 空調(ガス)改修工事 竣工

30.4.1 夜間部エンカレッジコース新設、定員変更。

夜間部 40 人増 普通科 40 人

普通科 (エンカレッジコース) 40 人

商業科 (エンカレッジコース) 40 人

昼間部 40 人減 普通科 40 人

31.4.1 第十七代校長 安 藤 嘉 朗 就任 (長崎県立波佐見高等学校より)

令和 3.4.1 第十八代校長 松 尾 修 就任 (長崎県立西彼杵高等学校より)

5.3.16 グラウンド照明設備改修工事竣工

6.4.1 第十九代校長 立 木 英 邦 就任 (長崎県教育センターより)

統合された学校の沿革 (抜粋)

佐世保市立高等学校 (定時制課程)

大正 12.4.7 佐世保市立夜間中学校として創立。

昭和 18.4.1 佐世保市立中学校となる。

23.4.1 佐世保市立高等学校となる。

52.3.31 統合により廃止。

佐世保市立商業高等学校 (定時制課程)

大正 14.3.31 佐世保市立松魚専修学校として創立。

昭和 6.3.31 佐世保市立商業学校(乙種)となる。

9.4.14 甲種商業学校に昇格。

19.3.31 佐世保市立工業学校に転換し、土木科、建築科を置く。

21.3.31 再び佐世保市立商業学校となる。

23.4.1 佐世保市立商業高等学校となる。

52.3.31 統合により廃止。

長崎県立北松南高等学校 (定時制課程)

昭和 24.9.20 長崎県立佐世保商工高等学校佐々分校として設置。

26.4.1 同校の商工分離に伴い、長崎県立佐世保商業高等学校佐々分校と改称。

27.4.1 長崎県立北松南高等学校創立に伴い、同校に定時制課程として併設。

53.3.31 統合により廃止。

長崎県立佐世保北高等学校 (定時制課程)

昭和 19.4.1 佐世保市立成徳高等女学校第二部として創立。

23.4.1 佐世保市立成徳高等学校となる。

24.4.1 長崎県に移管され、長崎県立佐世保北高等学校に定時制課程として併設

52.1.21 佐世保地区定時制・通信制の統合方針により生徒募集停止。

53.4.1 在籍生徒(3・4 年)は教場を長崎県立佐世保中央高等学校へ移転。

55.3.31 統合により廃止。

長崎県立佐世保南高等学校 (通信制課程)

昭和 23.2.1 長崎県立佐世保中学校に通信教育部を設置。

23.4.1 長崎県立佐世保第一高等学校通信教育部となる。

24.2.1 長崎県立佐世保南高等学校通信教育部となる。

36.10.30 通信課程と改まる。

52.1.21 佐世保地区定時制・通信制の統合方針により生徒募集停止。

53.4.1 在籍生徒(3・4 年)は教場を長崎県立佐世保中央高等学校へ移転。

55.3.31 統合により廃止。

関係卒業生数

単位：人

佐世保市立高等学校関係		佐世保市立商業高等学校関係		長崎県立佐世保中高高等学校		合 計
佐世保市立夜間中学校	1,367	佐世保市立商業学校	851	定時制昼間部	1,564	
佐世保市立高等学校併設新制中学校	221	佐世保市立工業学校	39	定時制夜間部	2,039	
佐世保市立高等学校	2,704	併設中学校	84	通信制	4,606	
		佐世保市立商業学校・商業高等学校	2,854			
小 計	4,292	小 計	3,828	小 計	8,209	16,329